

**平成30年度進行管理・評価シート**  
**津山市歴史的風致維持向上計画（平成21年7月22日認定）**  
（最終変更平成29年3月31日）

**進捗評価シート(様式1)**

組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制による検討	1
2 津山市歴史的風致維持向上計画協議会の開催	2
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 津山市景観賞 屋外広告物の規制	3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡津山城跡保存整備事業	4
2 苅田家住宅及び酒造場修理事業	5
3 京橋門跡地整備事業	6
4 アート&デザイン賑わい創出事業	7
5 鶴山公園樹木保存整備事業	8
6 津山だんじりの保存・継承事業	9
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査・指定	10
2 文化財の保存修理・防災・周辺環境	11
3 文化財の施設・普及啓発	12
効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「まなびの鉄道館津山線マルシェ」H30.8.29 山陽新聞	13
その他(効果等)(様式1-6)	
1 まちづくりに関する取り組み	14
<b>法定協議会等におけるコメントシート(様式2)</b>	<b>15</b>

評価軸 -1 組織体制		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
計画実施のための組織体制による検討		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	学識経験者、有識者、岡山県、岡山県教育委員会、市及び市教委で構成される「歴史的風致維持向上計画協議会」に諮り協議した。同協議会の開催は国土交通省、文化庁等の関係機関の指導・助言を得て行った。計画の追加、修正等の際には、同協議会の意見を求めながら行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) <span style="float: right;">定量的評価は可能な範囲で</span>			
市の第5次総合計画の実施及び歴史的風致維持向上計画第2期の策定にあたり、関係部局と随時協議を行った。また、前年度から継続して実施している個別事業については、事業担当課と随時協議を実施し事業の推進にあたった。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		多くの意見を踏まえたうえで調整を行うことが必要なため、事業に対する外部意見等の情報収集に努める。	
状況を示す写真や資料等			
平成30年度実施状況 個別事業について関係部署と随時協議し事業実施するとともに、歴史的風致維持向上計画1期の最終評価及び2期計画の策定を行う。			
<p>【津山市内組織】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(計画策定チーム)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・みらいビジョン戦略室</li> <li>・観光振興課</li> <li>・都市計画課</li> <li>・歴史まちづくり推進室</li> <li>・文化課</li> </ul> </li> <li>(政策会議)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・副市長</li> <li>・教育長</li> <li>・各部長</li> </ul> </li> <li>外部機関:             <ul style="list-style-type: none"> <li>・津山市都市計画審議会</li> <li>・津山市文化財保護委員会</li> <li>・津山市景観審議会</li> </ul> </li> </ul> <p>必要に応じ協議・意見</p> <p>市民 ← パブリックコメント → 津山市歴史的風致維持向上計画協議会</p> <p>協議</p> <p>歴史的風致維持向上計画の策定</p> <p>申請 ↓ 国土交通省・文部科学省・農林水産省</p> <p>↑ 認定</p> <p>【計画の実施体制】</p>			

評価軸 -2 組織体制		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
津山市歴史的風致維持向上計画協議会の開催		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	計画策定チームの検討内容結果は、学識経験者、有識者、岡山県、岡山県教育委員会、市及び市教委で構成される「歴史的風致維持向上計画協議会」に諮り協議		
定性的・定量的評価(自由記述) <i>定量的評価は可能な範囲で</i>			
歴史的風致維持向上計画1期の事業実施状況や最終評価及び2期計画策定に関する意見を求めるため、津山市歴史的風致維持向上計画協議会を開催した。協議会1回開催			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>平成30年度実施状況</p> <p>津山市歴史的風致維持向上計画協議会 【日 時】平成30年12月21日(金) 10:30～</p> <p>【場 所】津山市役所 501会議室</p> <p>【出席者】山陽学園大学教授、城東地区代表、城西地区代表、岡山県土木部都市局都市計画課、岡山県教育庁文化財課、津山市都市建設部企画調整官、津山市教育委員会生涯学習部文化課長、津山市都市建設部都市計画課長、津山市産業経済部観光振興課長、事務局(歴史まちづくり推進室)</p> <p>【協議事項】第1期津山市歴史的風致維持向上計画最終評価について 第2期津山市歴史的風致維持向上計画策定について</p>			
			
【津山市歴史的風致維持向上計画協議会の様子】			

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
津山市景観賞 屋外広告物の規制		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	歴史的まちなみの保存や城跡の眺望等、城下町津山にふさわしい歴史・文化にあふれた魅力ある都市景観の保全・活用および創造を図る		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
津山市景観賞の表彰 津山市景観計画に基づく指導を実施した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>景観計画 【実施状況】 平成30年度 届出件数 全54件 (うち景観形成重点地区6件)</p> <p>屋外広告物の規制 岡山県屋外広告物条例の許可対象以外の屋外広告物については、津山市景観計画における基準で指導を実施</p> <p>津山市景観賞の表彰 ・津山市景観賞(景観まちづくり部門)1件 ・津山市景観賞(奨励賞)2件</p>			
			
<p>平成30年度津山市景観賞 作楽神社のアヤメ園</p>			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
史跡津山城跡保存整備事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成10～30年度		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	津山城跡(鶴山公園)は、「津山城跡周辺地区」の核となる建造物であるため、一層の保存と活用を進めるために「史跡津山城跡保存整備計画」を策定して事業を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
史跡津山城跡保存整備事業により、平成30年度は裏下門下周辺の発掘調査、裏中門周辺の整備工事、弓櫓の説明板の設置を行った。 この整備により、歴史遺産の保存、観光・地域の交流拠点としての活用をさらに拡大させていくための基盤整備を推進することができた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		景観を阻害し、石垣に悪影響を与える既存樹木や廃城後に設置された占有物が多く残るとともに、災害による復旧工事もあることから継続して既存樹木整備、既存占有物の撤去を進めるため第2期計画に事業期間を延期する。	
状況を示す写真や資料等			
<p>史跡津山城跡保存整備事業                      【平成30年度実施状況】                      裏下門下周辺の発掘調査                      弓櫓の説明板設置</p> <p>【平成30年度実施内容】                      津山城の搦手側通路は、雨水が地表を流れて遺構を削ってしまったり、石段の石に抜けや、ずれが生じるなど、安全な通行が難しくなっていたことから、平成26年度から整備工事を行っている。                      平成30年度は、裏中門の枳形虎口部分の土系舗装と通路整備に先立ち裏下門石垣の解体を行った。発掘調査は今後の整備工事に先立ち裏下門下周辺について実施した。二の丸弓櫓の説明板を設置した。</p>			
			
【裏中門周辺整備の様子】		【説明板設置後】	

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
苅田家住宅及び酒造場修理事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成25年～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	城東地区の出雲街道沿いにある苅田家住宅及び酒造場は、「城東重要伝統的建造物群保存地区」の核となる建造物であるため、解体修理等を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
<p>「旧苅田家住宅(10棟)」が平成28年7月25日付で国の重要文化財に指定された。 平成28年度に津山市旧苅田家住宅保存修理活用検討委員会を立上げ、今後の修理に向けた検討に着手した。</p>			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している		今後の具体的な修理実施スケジュールについての検討に着手できていない。今後は、酒造りを伝承する拠点として活用するための整備計画を作成し、整備解体修理を行うため、第2期計画に事業期間を延期する。	
計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
苅田家住宅及び酒造場修理事業 【平成30年度実施状況】 ・旧苅田家住宅保存修理活用検討委員会開催していない。			
			
【苅田家住宅及び酒造場】			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
京橋門跡地整備事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成26年～29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	京橋門跡地は、津山まつりにおける津山だんじりの巡行コースであり、津山城の外周遺構を確認できる唯一の場所でもあるため、隣接地を取得し、石垣を覆い隠す建物を撤去して整備を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
周辺の道路から見えるように整備するため、隣接地2件と交渉をおこなっていたが、このうち南側1件について取得できたので、整備工事を実施した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		土地取得に時間を要したため、事業期間を延長して取り組んだ。また、当初案から規模を縮小して整備を行った。残り1件の部分についても、本来は取得したいので今後の課題である。	
状況を示す写真や資料等			
京橋門跡地整備事業整備事業 【平成30年度実施状況】 平成29年度で公園整備工事を完了した。			
			
【整備された京橋門跡】			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
アート&デザイン賑わい創出事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成30年度		
支援事業名	地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	旧妹尾銀行林田支店は、大正9年(1920)に建設され、昭和53年から平成21年まで津山洋学資料館(旧館)として活用されてきた出雲街道沿道の核となる建造物である。老朽化した屋根の修理等を実施し、活用することにより歴史的風致を維持向上する		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
「アート&デザイン賑わい創出事業」として平成30年度は4回のイベントを実施し、3,961人が利用した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		県道で寸断された城東地区の東端で駐車場が施設から離れている等の不利な条件の中、イベントを定期的に行い集客することで、中心部への流れを作り城東全体の活性化につなげる。	
状況を示す写真や資料等			
<p>アート&amp;デザイン賑わい創出事業 【平成30年度実施内容】 市民やアーティスト・デザイナーなどの交流や楽しみが生まれる施設、滞在型観光の中核エリアとなる城東地区の東部のランドマーク施設として、観光誘客も視野に入れた施設とする。市内外問わずアート作家を誘致し、「アート&amp;デザイン」をテーマにした地域交流を図る。</p>			
			
【展示の様子】			

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
鶴山公園樹木保存整備事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成22年～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	「日本の歴史公園100選」「美しい日本の歴史的風土100選」にも選ばれた鶴山公園(津山城跡)の桜の保護・補植により、重点地区の核となる建造物の歴史的風致を維持向上する。		
定性的・定量的評価(自由記述) <i>定量的評価は可能な範囲で</i>			
城跡の景観整備のため城内の樹木伐採を行うと共に、桜の老朽対策として樹勢回復と腐朽の進んだ老木の伐採と病気に罹った部位の除去また補植を行い、樹木景観の整備を行なうもの。(伐採4本、剪定41本)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		景観を阻害しているもの、石垣に悪影響を与えるもの、整備工事に支障をきたす既存樹木が多く残っているため継続して樹木整備を行い、第2期計画に事業期間を延期する。	
状況を示す写真や資料等			
鶴山公園(津山城跡)の樹木剪定伐採と養生			
			
【剪定・伐採作業】		【スギテープによる養生作業】	

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
津山だんじりの保存・継承事業			実施済 実施中 未着手
事業期間	平成21～30年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	津山固有の歴史や伝統を反映した津山だんじりの修理を実施。津山だんじりの修理により、当時の製作技術・技法等を知ることができるとともに、次世代への技術の伝承につながることが期待される。 また、津山まつりのメインになる出し物であるため、修理されただんじりの出動により、津山まつりがより活性化されることが期待される。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
津山だんじりの保存・継承事業による、だんじり修理は実施していない。(所有する町内からの実施要望なし) 平成30年度津山まつりが開催され、貴重な伝統行事が維持されている。 また、津山まつりの関連行事として大正末期から続く「やっこ行列」が地域の活動として継承されている。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		修理業者の技術力に対する不自信や町内会の費用負担面などで課題がある。継続して伝統文化及び伝統工芸技術の継承、育成支援を行うため、第2期計画に事業期間を延長し、支援方法の検討を行う。	



【津山まつりの様子】



【やっこ行列の様子】

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の調査・指定		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	未指定文化財の調査を継続し、保存が必要と判断されるものについては新たに指定を行って保存・活用に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
文化財の調査:地元6団体によるワーキンググループによる未指定文化財の調査を実施。 文化財の指定:市指定文化財 指定はなし			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			
<p>○文化財の調査 地元6団体によるワーキンググループを立ち上げ、未指定文化財の調査を実施。</p> <p>文化財の指定 [平成30年度市指定文化財] なし</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>[地元団体ワーキンググループの様子]</p>			

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

文化財の保存修理・防災・周辺環境	実施済 実施中 未着手
------------------	-------------------

計画に記載している内容 文化財の修理は、損傷が進まない内に実施するように努め、適正な管理や見回り・啓発などの予防活動により防災に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存修理：城東重要伝統的建造物群保存地区修理、国指定史跡津山城跡保存整備事業(P4参照)、県指定重要文化財高野神社本殿保存修理事業  
文化財の防災対策：国指定有茎民俗文化財田熊の舞台防災施設等事業、文化財防火デー

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	文化財の保存修理については、復元方針、材料の確保、職人の確保が課題となっているため、これらの課題に関する対応について、継続して検討を行っていく。 文化財建造物等に対する防犯に対しては文化財の巡視等の対応強化、必要に応じて防犯カメラ等の設置を行うなど、事案を未然に防ぐための手段を検討する
-----------------------------	--

状況を示す写真や資料等

文化財の保存修理



【修理前 高野神社】



【見学会の様子 高野神社】

【県指定重要文化財高野神社本殿保存修理事業】  
高野神社本殿屋根の銅板が老朽化し、雨漏りが見られるため、屋根の修理をおこない、新しく銅板をふくもの。29・30・31年度の3ヶ年事業。修理現場の見学会を実施。  
【城東伝統的建造物群保存地区修理状況】  
平成29年度修理6件、修景1件を実施。  
文化財の防災対策



【文化財防火訓練の様子 (作楽神社)】

【文化財防火デー】  
・重要文化財防火訓練  
日 時：平成31年1月27日(日)午前8時15分～  
場 所：津山市神戸 作楽神社  
想 定：作楽神社で火災が発生の想定  
実施内容：津山市消防団による防火訓練

・文化財の立入検査  
実施内容：消防組合による文化財の消防設備の査察と指導。  
日 時：平成31年1月24日(木)、25日(金)、28日(月)、31日(木)  
場 所：清瀧寺、田熊の舞台  
徳守神社、妙法寺  
江見写真館、長法寺、高野神社



【文化財の立入検査の様子 (徳守神社)】

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
文化財の施設・普及啓発			実施済 実施中 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存、活用に関する普及啓発を推進するため、説明会・報告会等を開催。また、市内の伝統文化や工芸技術等の活動に重点を置いたデータベース化に取り組み、市民に知ってもらう機会を増やし、結果的に文化や技術の継承・育成につながるよう努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
文化財の普及啓発： 美作考古学談話会、第37回文化財調査報告会、埋蔵文化財発掘調査現地説明会			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			
<p>文化財の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美作考古学談話会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>主 催：弥生の里文化財センター</li> <li>第1回 平成30年6月9日(土)「津山市加茂町万燈山古墳の出土遺物について」</li> <li>第2回 平成30年9月15日(土)「津山城跡の発掘調査現地見学会」</li> <li>第3回 平成31年1月19日(土)「埋蔵文化財の活用」</li> </ul> </li> <li>・埋蔵文化財発掘調査現地説明会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>主 催：津山市教育委員会</li> <li>第1回 平成30年9月15日(土)津山城跡発掘調査現地説明会</li> </ul> </li> <li>・第37回文化財調査報告会                     <ul style="list-style-type: none"> <li>主 催：津山市育委員会</li> <li>日 時：平成31年2月23日(土) 13:30～16:30</li> <li>場 所：グリーンヒルズ津山リージョンセンター</li> <li>参加人数：約80名</li> <li>概 要：報告「津山市における取組について」津山市教育委員会</li> <li>講演「文化財を活かした観光の可能性」文化庁 文化財調査官 村上佳代</li> <li>講演「歴史的資源を活かした観光まちづくり」一般社団法人ノオト 金野幸雄</li> <li>ディスカッション</li> </ul> </li> </ul>			
			
【発掘調査現地説明会の様子】		【文化財調査報告会の様子】	

評価軸 -1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	平成30年度
		掲載紙等	
まなびの鉄道館津山線マルシェ	H30.8.29	山陽新聞	
市が城東地区防災計画策定作業	H30.9.14	山陽新聞	
津山市重文の旧銀行支店(旧妹尾銀行林田支店)一部改修、きょうオープン	H30.10.6	山陽新聞	
旧津山扇形機関車庫と転車台 鉄道記念物格上げ祝う	H30.10.7	山陽新聞	
工芸作品やレトロ喫茶 城西まるごと博物館フェア	H30.10.11	山陽新聞	
大みこし勇壮に練る 津山まつり徳守神社でフィナーレ	H30.10.30	山陽新聞	
のんびり鉄道の旅 津山-智頭「みまさかスローライフ列車」	H30.11.13	山陽新聞	
後醍醐天皇一行を再現 さら山時代祭	H30.11.13	山陽新聞	
江戸期のにぎわい再現 旧出雲街道を行列練る	H30.11.5	山陽新聞	
石垣の構造や雁木説明 津山城跡発掘調査	H30.12.5	山陽新聞	
卒業証書自分で作った 高田小6年和紙の紙すきに挑戦	H30.12.14	山陽新聞	
津山城跡眺めすっきり 津山信金本店屋上の看板撤去	H30.12.18	山陽新聞	
津山線開業120周年祝う	H30.12.23	山陽新聞	
バスツアーや民泊施設開設を 城東、城西活性化へ提案	H31.1.22	山陽新聞	
17字で表現「難しい」南小児童が俳句に挑戦	H31.1.22	山陽新聞	
津山城跡理解深めて 観光ボランティアガイドの会	H31.1.29	山陽新聞	
院庄の歴史に理解を「院庄史跡研究会」作楽神社内巡る	H31.1.31	山陽新聞	
文化財を火災から守れ 市消防団、作楽神社で訓練	H31.2.1	山陽新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

津山市の歴史・文化遺産の保全や活用、良好な景観の創出に関する方針等を周知した結果、津山市の歴史的風致に関する関心を高めることが出来た。  
また、さまざまな啓発活動等により、地域のまちづくり活動の活性化につながった。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<p>計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし</p>	

評価軸 -1

その他(効果等)

評価対象年度	平成30年度
--------	--------

項目

まちづくりに関する取り組み・効果

計画に記載している内容  
 城西地区では、歴史的な町並みや人々のくらしを一つの博物館ととらえる「城西まるごと博物館構想」を進めており、毎年、「津山・城西まるごと博物館フェア」を開催。  
 城東地区では、町並みや伝統的な産業・文化を守り伝えようと13町内会が「出雲街道津山城東むかし町」を開催。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で、記事・議会議事録等を添付

歴史的景観が多く残されている城西地区、城東地区を中心に、歴史遺産の掘り起こしや再発見に取り組む活動が行われた。

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし  
 地域のまちづくり活動の支援を効果的に行うべく、協議会等との連携強化や情報共有の推進に努める。

状況を示す写真や資料等

(城西地区)  
 地元住民を中心とした各種イベントを実施し、城西地区の歴史的魅力の再発掘に努めている。  
 また、旧中島病院本館をまちづくり拠点として活用し、まちづくり活動の推進に努めている。  
 津山・城西まるごと博物館フェア  
 【事業内容】 古い町並みが残る城西地区を博物館に見立て、手仕事で賑わった大正時代の町並みや暮らしを紹介するイベントを実施。このイベントにより、地域の再発見や交流を図る。平成30年度は23回目の開催で、約2万人の来場者で賑わった。  
 【実施主体】 津山・城西まるごと博物館フェア実行委員会

野菜と魚の市  
 【事業内容】 登録有形文化財である作州民芸館を活用し、月に一度、野菜と魚の市をオープン。地域の文化財の活用を推進するとともに、地元住民の交流を図る。  
 【実施主体】 つやま城西ほりおこし隊

作州緋織り人養成講座  
 【事業内容】 岡山県郷土伝統的工芸品「作州緋」の復興を目的に織り人養成講座を開講。  
 【実施主体】 作州緋保存会

旧中島病院本館(城西浪漫館)指定管理業務(平成21年度～)  
 【事業内容】 歴史的洋風建造物をまちづくり拠点施設として活用し、喫茶、展示ギャラリーなどの事業によって歴史的遺産を有効に活用したまちづくり活動を推進する  
 【利用状況】 平成29年度 来館者数 13,873人 喫茶利用者数 4,589人  
 平成30年度 来館者数 13,794人 喫茶利用者数 4,207人

城西歴史講座  
 【事業内容】 市民を対象に、城西地域の歴史について解説する歴史講座(全5回)を開催。  
 【実施主体】 津山市城西公民館

(城東地区)  
 地域住民が中心になってまちづくりイベントを行い、出雲街道を中心とする歴史遺産の発掘、魅力の創出に努めている。  
 出雲街道津山城東むかし町  
 【事業内容】 城東地区の出雲街道1.2kmを歩行者天国とし、昔の町人文化を表現するため、住民による江戸期風衣装や昔風イベントを実施。このイベントにより、町のすばらしさ、町並みのすばらしさを再認識し、活力ある町の創出を図る。平成30年度は29回目の開催で、約2万5千人の来場者で賑わった。  
 【実施主体】 津山城東むかし町実行委員会

伝統的建造物の修理・修景実施件数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	延べ件数
修理	4件	7件	8件	6件	4件	29件
修景	1件	1件	1件	1件	0件	4件

【伝統的建造物群保存地区内における修理・修景の実施件数】

(まちづくりの効果)  
 主要7施設入館者数の推移  
 平成21年7月に津山市歴史的風致維持向上計画の認定を受け、城東地区及び城西地区の道路空間高質化事業や地図情報板設置事業をはじめとした各種事業を行い、翌年度には施設入館者数が大幅に増加した。平成23年度、平成24年度は微減したが、平成25年度からは再び増加傾向にある。平成25年8月に城東地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、全国的に知名度が向上したことも要因の一つである。平成30年度は旧妹尾銀行に芸術文化交流拠点がオープンしたことで、入館数の増加が見られた。

平成30年度の状況について追記  
 7施設・・・城東地区：作州城東屋敷、箕作阮甫旧宅、城東むかし町家、津山洋学資料館、旧妹尾銀行(10月オープン)  
 城西地区：作州民芸館、城西浪漫館



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成30年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:津山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成31年12月21日	
(コメントの概要)	
・津山だんじりの保存・継承に関しては、子供の介添え役等の参加もさることながら、祭りの中核を担う青壮年くらいの年齢層等の参加を増やしていくことに重点を置いている。	
・だんじりの修理現地説明会等の一般に公開する活動は今後も大切にしていきたい。	
・寺院群に見る歴史的風致の中での活動に寺の修理についても盛り込んでもらいたい。	
(今後の対応方針)	
・伝統行事、工芸技術等の伝統文化の継承、後継者の育成に取り組む。	